

初めてご利用になる方へ

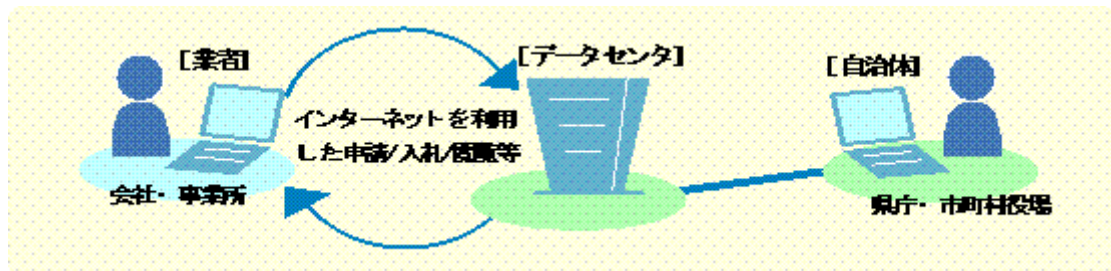
・「あいち電子調達共同システム（物品等）」は、物品の製造販売及び業務委託等の営業種目を対象とする電子調達共同システムです。

（公共工事等は「あいち電子調達共同システム（CALS/EC）」をご利用ください）

・ご利用にあたっては、利用規約の確認・同意が必要です。

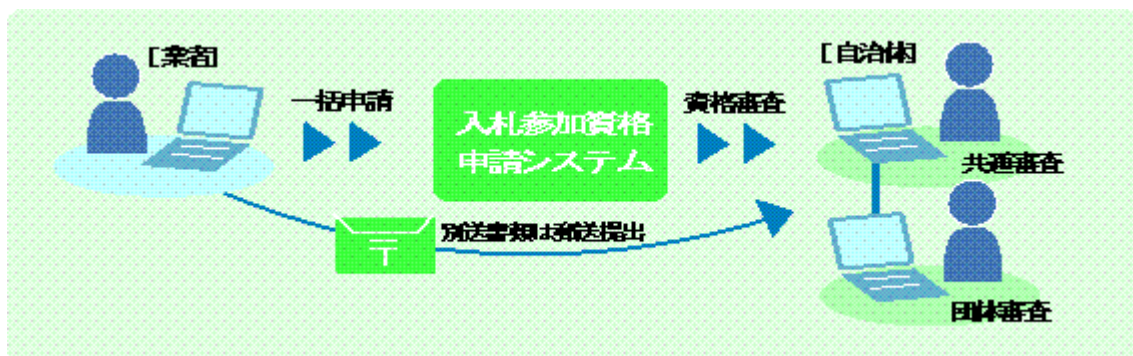
1 電子調達システムとは

入札参加資格申請や入札をインターネットに接続したパソコンから電子的に行うものです。ICカードや暗号化通信(SSL)等を利用したセキュリティ対策を実施します。

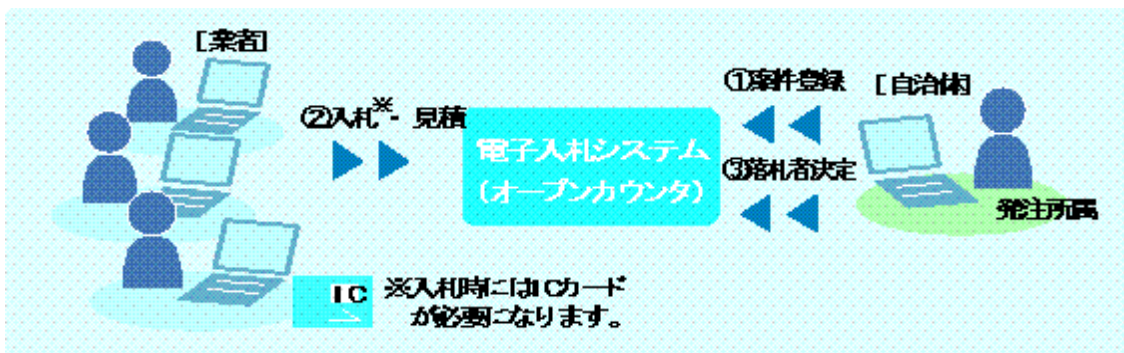


2 電子調達システムの概要

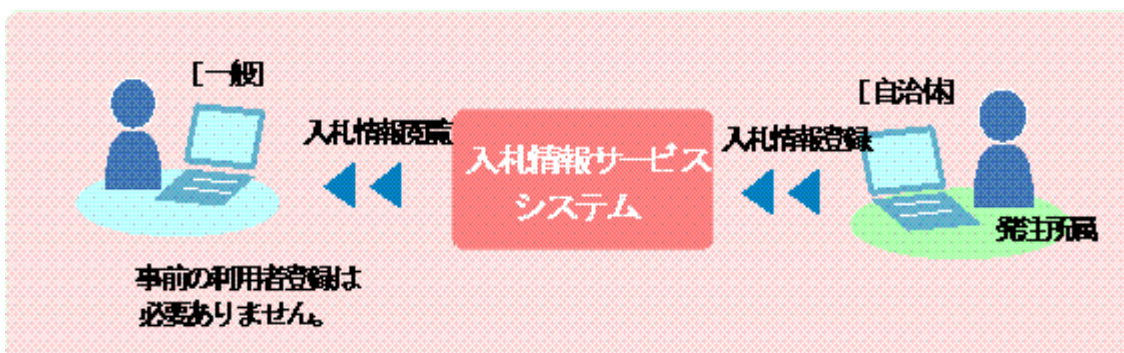
■入札参加資格申請 …… インターネットを利用して、入札参加資格審査の申請をします。審査結果もシステムにより確認します。



- 電子入札 …… インターネットを利用して、入札(見積競争)を行います。
入札結果もシステムにより確認します。



- 入札情報サービス …… インターネットに入札情報(入札予定・結果・業者名簿等)を公開します。(公開内容は団体によって異なります。)



3 導入効果

- ・利便性の向上 …… 来庁時間、移動経費等のコストが軽減します。また、複数自治体への入札参加資格申請が一度の操作で可能となります。
- ・透明性の向上 …… 入札結果等を公開することにより、手続きの透明性が向上します。
- ・競争性の向上 …… 時間的、地域的な制約を緩和し、入札等への参加機会が拡大します。
- ・公正性の確保 …… 入札参加者が一堂に会する機会の減少や、開札までの情報管理の厳格性などにより不正行為を抑止できます。

4 導入スケジュール

- (1) 入札参加資格申請の手続きは、平成20年1月に全参加団体が一斉に電子化しました。
- (2) 電子入札は平成 20 年 8 月に稼動しました。
電子入札や公開見積競争(オープンカウンタ)は、参加団体毎に順次導入し、対象を拡大していきます。(具体的な導入予定については、[電子入札等導入計画表](#)をご覧ください。)

5 対象となる入札方式

- ・一般競争入札
- ・入札後資格確認型一般競争入札

入札後資格確認型一般競争入札とは、入札案件毎の入札参加資格の確認を、開札後に1番札の者(落札候補者)から資格確認を行い、条件を満たす場合に落札決定する方法です。

- ・指名競争入札(最低価格)
- ・公開見積競争(オープンカウンタ)

公開見積競争とは、発注者が公開する案件の内容を、業者が閲覧のうえ任意に見積る方法です。システムによる公開見積競争に参加するには、入札参加資格が必要となります。